

# 滋賀縣人

第190号

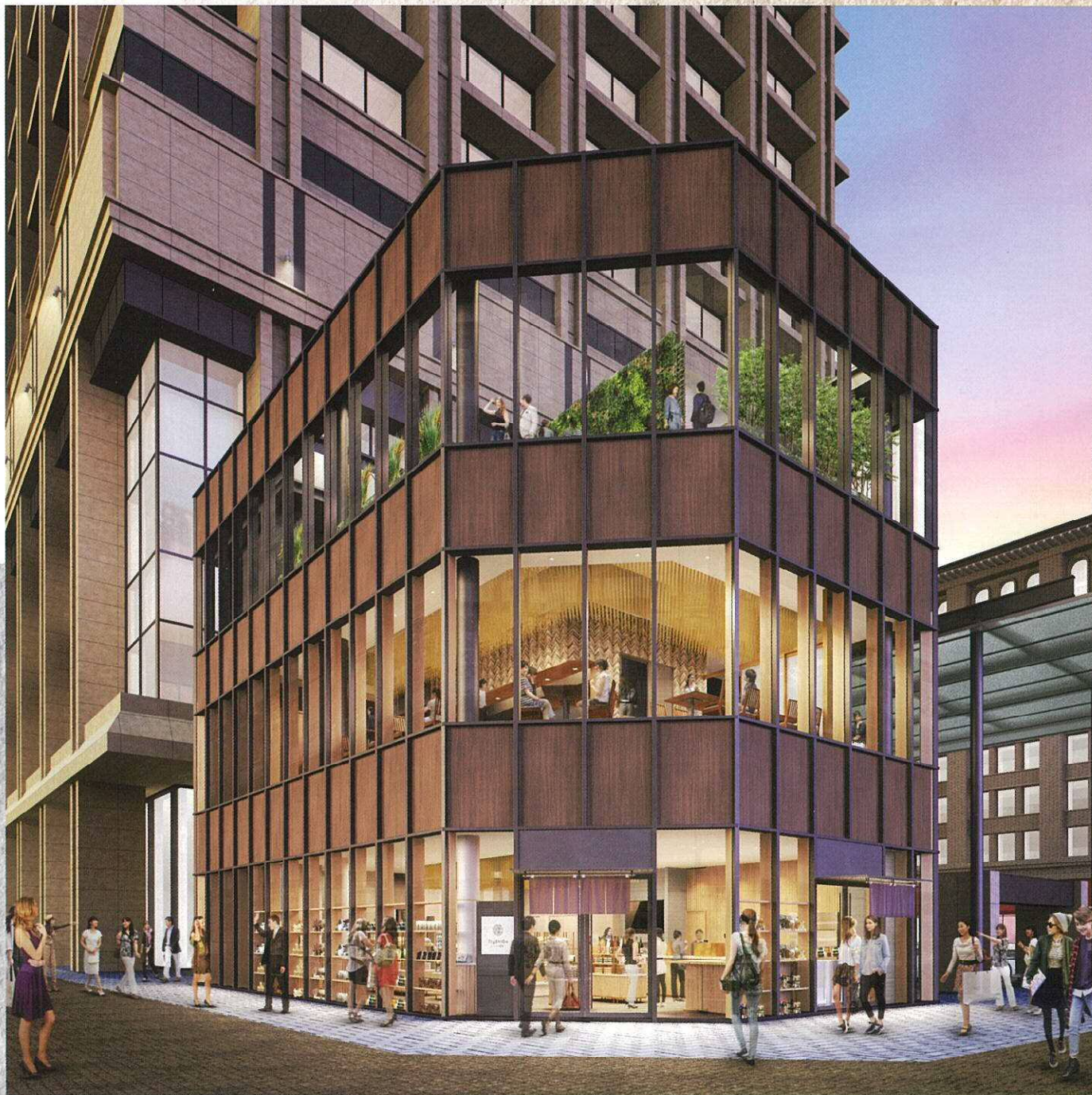
発行所

一般社団法人 東京滋賀県人会

東京都中央区東日本橋3-6-20 205  
電話 03 (3661) 1180 振替 00180-4-26966  
FAX 03 (3661) 5058

発行日 平成29年8月1日

発行人 静永純一



滋賀情報発信拠点「ここ滋賀」

## Contents

- ご挨拶 ..... 2
- ご案内/ご報告 ..... 3
- 県人会の活動 ..... 4
- いよいよ「ここ滋賀」オープン! ..... 5
- 「滋賀縣人」の新タイトル募集 ..... 5
- 東京で滋賀県を知る食べる ..... 6, 7
- カメラで巡る 日本遺産滋賀信楽の旅  
「きっと恋する六古窯—日本生まれ日本育ちのやきもの産地—」 ..... 8 ~ 15

# ご挨拶

一般社団法人 東京滋賀県人会 会長 静永純一



日毎に暑さが加わる候となりましたが、東京滋賀県人会の皆様には、益々御健勝で活躍のことと拝察致します。

世界の情勢は、トランプ大統領の登場、英国のEU離脱、など予測し難い事態が起きており、北朝鮮の度重なるミサイル発射は、日本にも大きな脅威となっています。さらに、世界各地でテロが勃発したり、サイバー攻撃が多発するなど、不安な状況にあります。国内では、指標の上では、緩やかな景気回復基調が続いているとされていますが、人々の実感では、まだまだ厳しい経済状況というのが一般的かと思われます。

東京滋賀県人会の活動に関しては、次世代を担う人々に出来る限り参加していただくことを第一に心掛けたいと思っています。幾つかご報告をさせていただきます。まず、昨年11月からスタートした「AKINDO塾」は、塚本副会長に塾頭になっていただき、これまで3回開催されました。最初は、塚本塾頭が、「世界の中でビジネスチャンス」と題して話され、2回目は、大津を本拠地としてグローバルなビジネスを展開していただけるオプテックス株式会社（東証一部上場 従業員約1700人）の小林会長に会社立ち上げの頃からの苦労話を含めお話しいただきました。3回目は、元農水大臣の岩永元衆議院議員（滋賀県茶業会議所 会頭）から、近江茶の魅力についてご講演をいただきました。次回は、9月22日（金）に小林伊藤忠商事株式会社副会長のご講

演を予定しております。会員の皆様方が振るってご参加いただけるようお待ちしております。内田真由子副会長は、婦人、若者の新しいメンバの獲得に大変ご尽力いただいています。先日、開催された滋賀出身の女性の集まり「東京しがーる会」には、たまたま上京中の三日月知事も参加していただきました。在京の外国大使館訪問も、カナダから始まりました。こうした活動の結果、この半年間余りで、新規会員の数は40人余りも増えていきます。滋賀選出の国会議員の方々との懇親会も2回行いました。特に、2回目は、川端衆議院副議長のご厚意により副議長長官邸で懇親を深めました。関東ブロックの県人会との連携強化については、昨年以來3回会議を行い、今後は、地理的に中心にある埼玉県で、年に数回集まることになりました。

今年後半の最大の活動目標は、10月29日（日）にオーブンが決まった滋賀県のアンテナショップ「ここ滋賀」（東京 日本橋）を県人会として、大いに盛り上げていくこととあります。滋賀の魅力を見て、食べて、触れて、感じる情報発信拠点です。周辺には、三重、富山、奈良、長崎などアンテナショップが競い合っています。2階には、レストランもあり、近江牛など滋賀の名産が味わえるようです。県人会のイベントも「ここ滋賀」でやりたいと思っています。こうした活動に会員の皆様方の大いなるご支援とご協力をお願いします。

まだまだ、暑さ厳しい夏が続きますが、故郷滋賀と東京滋賀県人会の益々の発展と、会員の皆様方のご壮健を心から祈念し、私の挨拶と致します。

平成29年度

## 定期総会のご案内

本格的な暑さになってまいりましたが、皆様には益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。左記により平成29年度定期総会並びに懇親会を開催致します。万障お繰り合わせの上ご臨席賜りたくご案内申し上げます。

と き…平成29年9月12日（火）

定期総会 16時30分～17時30分

懇親会 8階カンファレンスルームブルー

18時～20時30分

9階バンケットA

と ころ…日本青年館ホテル

東京都新宿区霞ヶ丘町4の1

TEL 03(3401)0101

アクセス/東京メトロ銀座線

外苑前駅下車徒歩5分

会 費…お一人様 10,000円

※お土産付き

※定期総会及び懇親会への出欠葉書ご回答のお願い。同封葉書にて8月31日迄にご回答下さい。  
※会員のご家族、ご親戚、お知り合い等、ふる里出身並びにふる里にゆかりのある若い善男・善女の出会いの場としてもご参加をお待ち申し上げます。

## ご案内

### 役員会・物故者法要のご案内

とき：平成29年8月22日（火）

- ・役員会  
12時～13時30分  
滋賀銀行東京支店3階会議室
- ・物故者法要  
14時～15時  
東京都中央区東日本橋3-6-20  
グランスイート東日本橋スクウェア  
205号室東京滋賀県人会ホール

### 月例法要のご案内

毎月第一木曜日（1月・8月を除く）  
14時から、滋賀県人会ホールにて行っております。是非お越し下さい。

29年開催日は、  
9月7日・10月5日・11月2日・12月7日

### 善男善女のお申込み

善男善女の縁結び、お写真を承っております。  
お気軽にご紹介ご利用下さい。  
なお、現在多数のお写真等お預かりして  
います。お気軽にご連絡下さい。

### 空家バンク

県人会は、滋賀県下の「空き家」の仲介（無料）をしています。空き家の所有者・管理人から「空き家情報」の申し出を受け、空き家情報を東京はじめ周辺の各県人会の会員に紹介しています。

## ご報告

### 近江ゆかりの会報告

平成29年2月2日（木）品川プリンスホテルアネックスタワー5階のプリンスホールにて開催されました。

主催は滋賀県、協力が首都圏各県人会・在京同窓会・滋賀銀行東京支店で、首都圏で活躍する「滋賀県ゆかりの人」が一堂に会して親睦を深め、ビジネス等に生かせるネットワーク作りの機会となる交流会です。三日月大造知事以下446名の参加で盛会に行われました。



### 近江ゆかりの会



### 大近江展の報告

平成29年3月8日～13日日本橋高島屋8階催会場にて第29回琵琶湖夢街道大近江展が開催されました。多くの会員の方々にお越し頂き有難うございました。



### びわ湖長浜曳山まつり

子ども歌舞伎東京公演の報告

平成29年7月9日（日）東京国立劇場小劇場にて、ユネスコ無形文化遺産登録記念事業として開催されました。東京では普段見ることのできない公演に、観覧者は深く見入っていました。



# AKINDOの塾

塚本副会長を塾長に、会員同士の人脈形成、ネットワークの構築、知識向上の支援を目的として、経済界でご活躍の講師を迎え講演会・勉強会等を開催しています。

・平成29年2月17日（金）

第2回講演会「滋賀生まれ、世界育ちのオプテックス」

講師・オプテックスグループ株式会社代表取締役会長

小林徹氏

・平成29年5月15日（月）

第3回講演会「近江茶に対する思い」

講師・一般社団法人滋賀県茶業会議所会頭・元農林水産大臣

岩永峯一氏

第4回講演予定

平成29年9月22日（金）伊藤忠商事本社10階にて

講師・伊藤忠商事株式会社副会長小林洋一氏



第3回AKINDO塾



第2回AKINDO塾

## 県人会の活動

### 東京しがーる会

女性青年部長の内田副会長が担当し、会員構成の若返りを目指した女子会青年会の活動です。

三日月大造知事や地元国會議員、湖国寮で暮らす大学生も参加しました。知事が「今日の出会いからまた新たな繋がりが生まれる」と挨拶されました。参加者は、湖国産の食材を使った料理を味わい、故郷の思い出や近況を話題に盛り上がりしました。今後は滋賀の食材を使った料理教室等の活動も計画しています。

・平成29年4月13日（木）

第1回東京しがーる会

「かしわビストロパン」

参加人員45名



# いよいよ「ここ滋賀」オープン!

滋賀県の情報発信拠点「ここ滋賀」が、2017年10月29日(日) オープン。  
近江商人ゆかりの街、東京日本橋にオープンします。  
JR東京駅から徒歩6分、東京メトロ日本橋駅B6、B8出口から徒歩1分です。



屋上…テラス席、  
季節に合わせたイベント等



2 F…本格的な  
和食ダイニング



1 F…滋賀県産の食品・  
工芸品等の物販、  
地酒バー、テイク  
アウトコーナー、  
観光案内等

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1

## 会報誌「滋賀縣人」の新タイトル募集

当会は昭和32年3月12日東京都教育委員会より県人会活動組織体として全国で最初の「社団法人」に認可され、本年で創立60周年を迎えます。

会報誌「滋賀縣人」は、今迄の紙媒体での会員様への情報提供から、本年10月29日(日) オープンのアンテナショップ「ここ滋賀」を全面バックアップすべく、首都圏で生活する滋賀県人だからこそ分る滋賀県の魅力を、当会ホームページやメールマガジン、紙媒体等によりさらに分かり易く情報発信する為に、まずは手に取ってもらえる表紙・タイトルが必要と考えています。つきましては、当会会員の皆様より、当会の未来に向かっていく会報誌の新タイトルを募集致します。

●**応募方法** (eメール又は官製ハガキにて、タイトル案、住所、氏名をご記入の上、お送り下さい)

eメール: [tokyo@shigakenjinkai.jp](mailto:tokyo@shigakenjinkai.jp) (件名を「会報誌新タイトル募集」として下さい)

官製ハガキ: 東京滋賀県人会事務局宛 (「会報誌新タイトル募集」とご記入下さい)

●**応募締切**

平成29年9月30日(土) 当日消印有効

●**選考方法等**

東京滋賀県人会事務局にて、厳正に選考致します。採用者には近江ゆかりの賞品を謝礼として進呈致します。

皆様のご応募をお待ちしています。

# 東京で滋賀県を 知る食べる

重要文化財

日本橋高島屋

Since 1933

江戸時代より近江商人が活躍した日本橋。江戸三大祭の山王祭が有名な日枝神社は総本宮が日吉大社、琵琶湖を模したとされる上野不忍池等、東京には様々な滋賀県と繋がる歴史や場所があります。貴方の知っているあのスポットも実は滋賀県がルーツかも知れません。滋賀県との繋がりを知り、滋賀県を身近に感じて見るのは如何でしょうか。

## 東京探訪 その1

### 日本橋のランドマーク 「日本橋高島屋」

現在の店舗が出来たのは1933年で、大理石と、今では殆んど見ることが出来ない手動式エレベーターが姿を残し、国の重要文化財に指定されています。毎年春に開催される「大近江展」は、日本橋でひとときわ風格のあるここ「日本橋高島屋」で行われます。1831年創業者の初代飯田新七が、近江国（滋賀県）高島郡出身の義父が京都で営んでいた米穀商「高島屋」から分家して、古着と木綿を扱う店を開いたのが始まりです。滋賀県の地名から名付けられた老舗デパートで、文化財を観賞し、ショッピングやグルメを楽しみませんか。



# 東京探訪

その2

## 東海道の歴史が残る銀座 「信楽通り」

銀座のショッピング街から少し離れた、銀座通り新橋側の銀座天国ビル勝手口側の閑静な裏通りです。起点が銀座八丁目9番・終点が銀座八丁目10番、距離103mの短い通りで、平成2年

度に設定されました。通りの名前は、ここに昔あった「信楽茶屋」に由来すると云われています。江戸時代、東海道の立場（宿場と宿場の間の休憩場所）として栄えた通りの

一際大きな茶店を「信楽茶屋」と呼んでいたそうです。

銀座信楽通りのすぐ向こう側、新橋側の御門通りに出た角には「芝口御門跡」の石碑があり、門外は船着き場で、多くの宿や茶店で賑わっていたことを伝えています。東海道の歴史が今もなお香る「信楽通り」で、江戸の活気を感じながら散策してみても如何でしょうか。



信楽通り



新橋側から見た信楽通り



芝口御門跡の石碑



信楽通りの街並み

# しがらき

## 信楽

### SHIGARAKI

# カメラで巡る

# 日本遺産滋賀信楽の旅

## 「きっと恋する六古窯

## —日本生まれ日本育ちのやきもの産地—

森岡 進一 (近江八幡市出身)

信楽は、シガラキと云う音に信楽と云う漢字が充てられていますが普通の読み方では「シンラク」「シンガク」と読み「シガラキ」とは読めません。「信楽」の地名は「紫香楽」から鎌倉時代末期に信楽に変わったと云われますが、「しがらき」の読みの由来については多くの説があります。

甲賀市信楽町は滋賀県南部に位置する陶芸の里です。地下には400万年前に堆積した古琵琶湖層と云われる良質の粘土層があります。信楽焼は、日本六古窯の一つに数えられ鎌倉時代末期に壺・甕・摺鉢等のやきものが始まりとされています。室町・桃山時代には茶道具も作られ、本能寺の変の時に堺で孤立無援となった徳川家康が三河へ帰る途中、信楽の豪族、多羅尾一族の援助を受けたことから、後に茶壺が幕府御用達となったと云うエピソードが残ります。奈良時代742(天平14)年に聖武天皇がこの地に「紫香楽宮」を造営、山火事等の天災が続発し天皇の滞在は長くはありませんでした。今日、甲賀寺跡等で当時の瓦が発見されますが、それを焼いた窯はまだ発見されておらず、信楽焼の歴史の始まりはともミステリアスです。

焼成(粘土を窯で加熱して陶器にすること)に重油を燃料としていた時代の名残だと云われるレンガ造りの煙突が残るレトロな山間の町信楽の窯元散策路を歩くと、薪を燃料とした登り窯等を見ることが出来、町全体が信楽焼の歴史を語る博物館になっています。信楽高原鐵道の新型ディーゼル列車で貴生川駅から「日本生まれ日本育ちのやきもの産地・きっと恋する信楽焼の旅」を始めましょう。

### 日本遺産とは

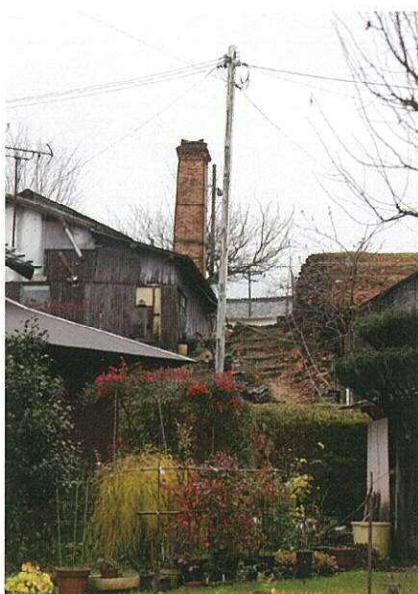
我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図る為には、その歴史の経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、これらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承・環境整備等の取組を効果的に進めていくことが必要です。

文化庁では、地域の歴史的魅力や

特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Heritage)」として認定し、ストーリー

を語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援します。また、日本遺産として認定するストーリーには、「地域型・単一の市町村内でストーリーが完結」と、「シリアル型・複数の市町村にまたがってストーリーが展開」の2種類があります。

一昨年4月に第一弾として、滋賀県



レトロな信楽の風景



信楽高原鐵道

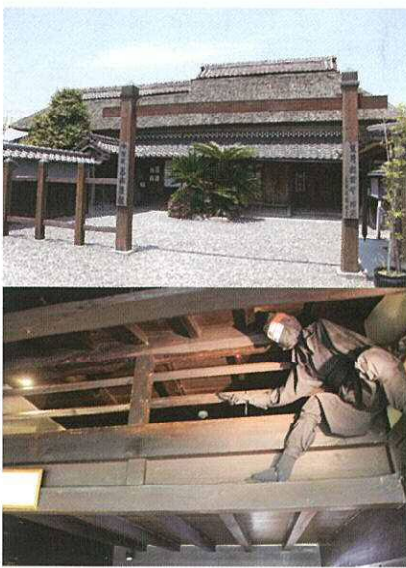
の「琵琶湖とその水辺景観」祈りと暮らしの水遺産」を含む18件が、昨年4月に第二弾として19件が、今年4月に第三弾として滋賀県甲賀市の「きっと恋する六古窯—日本生まれ日本育ちのやきもの産地—」「忍びの里 伊賀、甲賀—リアル忍者を求めて—」を含む17件が認定されました。また、先に認定の「琵琶湖とその水辺景観」に、構成文化財(浮御堂・建部大社・永源寺と奥永源寺の山村景観・伊吹山麓の太鼓踊と奉納神社)4件が追加されました。



今回紹介する日本遺産滋賀県甲賀市の「きつと恋する六古窯―日本生まれ日本育ちのやきもの産地―」に認定されたストーリーはシリアル型で、滋賀県甲賀市・福井県越前町・兵庫県篠山市・岡山県備前市・愛知県瀬戸市と常滑市で、ストーリーの概要は、瀬戸・越前・常滑・信楽・丹波・備前のやきものは「日本六古窯」と呼ばれ、縄文から続いた世界に誇る日本古来の技術を継承しています、日本生まれ日本育ちの、生粋のやきもの産地です。中世から今も連続とやきものづくり



日本遺産 琵琶湖とその水辺景観



日本遺産 忍びの里・甲賀

が続くまちは、丘陵地に残る大小様々の窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいます。恋しい人を探すように煙突の煙を目印に陶片や窯道具を利用した塀沿いに進めば、「わび・さび」の世界へと自然と誘いこまれ、時空を超えてセピア調の日本の原風景に出合うことが出来ます。

また、日本遺産滋賀県甲賀市の「忍びの里 伊賀・甲賀―リアル忍者を求めて―」に認定されたストーリーはシリアル型で、滋賀県甲賀市・三重県伊賀市で、ストーリーの概要は、忍者は今やテレビやアニメを通じて海外にまで広く

知られ渡り、奇抜なアクションで人々を魅了しています。忍者の名は広く知られていても、真の姿を知る人は少数です。甲賀・伊賀は忍者の発祥地として知られ、その代表格とされてきました。複雑な地形を利用して数多くの城館を築き、互いに連携し自らの地を治め、地域の平和を守り抜いた集団です。伊賀・甲賀忍術は、豊かな宗教文化や多彩な生活の中から育まれました。忍びの里に残る数々の足跡を訪ねれば、リアルな忍者の姿が浮かび上がります。伊賀・甲賀、そこには、戦乱の時代を駆け抜けた忍者の伝統が今も息づいています。機会がありましたら次回以降に紹介致したく思います。(文化庁日本遺産資料より)

## 日本六古窯とは

中世(平安時代末期〜鎌倉時代)に陶器産地として始まり、現在まで続いている産地で、瀬戸・常滑・備前・丹波・信楽・越前の六古窯を云います。六古窯以外にも全国各地で鎌倉時代の窯跡が数多く発見されていますが、いずれも自然淘

### ①信楽焼窯跡群

常滑の影響を受けて信楽窯は成立し、穴窯で室町・桃山時代の茶陶生産を担い、そして江戸時代には連房式登り窯へ移行しました。京焼風小物施釉陶器は江戸・東京まで流通し、戦後、火鉢は日本全国で用いられました。

信楽はわが国を代表するやきもの生産地です。いわゆる六古窯の一つに数えられ、七遺跡が滋賀県の史跡に指定されています。近年の調査研究によると、鎌倉時代に黄瀬(きのせ)イシヤ遺跡等で尾張常滑焼の



丸又窯跡



丸由窯跡



明山窯 (Ogama)

日本遺産滋賀県甲賀市「きつと恋する六古窯―日本生まれ日本育ちのやきもの産地―」に認定されたストーリーの信楽焼構成文化財11件(青文字で記載した文は、甲賀市教育委員会資料により)で、信楽焼の魅力を知ろう!

影響を受けて壺・甕・播鉢の生産を開始し、戦国時代には中井出窯跡や金山遺跡等で、これらに茶陶を加えて生産し、京都まで販路を拡大しました。江戸時代になると、牧西遺跡等では北部九州から新しい技術を導入し、同後期から明治時代にかけては京風の焼物を、長野東出遺跡等で生産し、江戸・東京にまで大量流通させるようになりました。そして昭和時代には、丸又窯跡や丸由窯跡等で、火鉢等の大型品を生産して全国流通させ、信楽焼の最盛期を現出させました。窯元散策路には、連房式登り窯の丸又窯跡や丸由窯跡や明山窯跡（Ogami）等の火鉢を量産していた窯跡が町のシンボルとして良く残り、今も使われている宗陶苑の登り窯も見ることが出来ます。

## ② 信楽焼

古信楽を範とした伝統的技法による作品の作り手のみならず、信楽の伝統を活かした制作を行う芸術性の高い作家まで広く対象としています。

信楽焼は、古来、釉薬を掛けずに焼しめる陶器を生産していました。古琵琶湖層で採取された信楽の土は、質が良いことで名高く、ケイ石や長石が多く混ざり、信楽焼独特の野趣あふれる肌の温かみのある火色を生み出し、火に強く、小物も大物も作ることが出来る頼もしい土です。陶器は、一般に、吸水を防ぎ、強度や装飾性を高める為に釉薬を掛け、ガラス質の皮膜で素地をコーティングします。現在の信楽では、長い伝統を重んじ



いろいろな窯 資料



単窯



製陶会社にて



陶板画「万葉集に魅せられて」 甲賀市くすり学習館にて



現代の信楽焼

ながら、現代の技術と感性を取り入れた製品が作られています。時代時代を人々と生きてきた信楽焼は、次なる未来への道を模索しています。

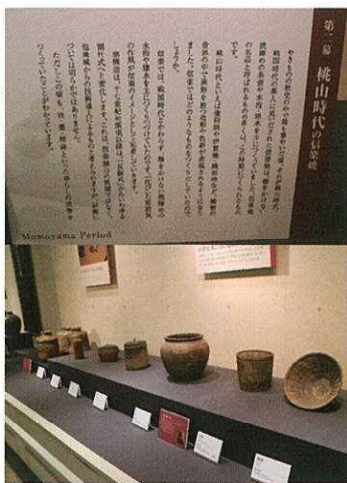
## ③ 古信楽

室町時代後期になると、茶壺、蹲、鬼桶水指は「侘」「寂」といった自然観を備え、堺・奈良・京都等の町衆に茶陶として見出されました。

古信楽とは、中世（平安時代末期～鎌倉時代）穴窯で焼かれたやきものを総称し、信楽焼の創始時代（鎌倉時代中期）から安土・桃山時代迄の物を云います。焼成によって得られる温かみのある「火色（緋色）」の発色と、自然釉による「ピードロ釉」と「焦げ」の景色の味わいは、土と煙が織りなす芸術としてよりやきものを引き立たせ、その素朴さ、渋さは、「侘・寂」の妙味を現出し、枯淡に生きる日本人の風情を表したやきものとして古くから脚光を浴びました。室町・桃山時代の茶道の興隆とともに茶人に愛され、特に、信楽焼の茶陶は、茶道の奥の院の道具として珍重されるようになりました。



古信楽の壺



信楽伝統産業会館にて



信楽伝統産業会館にて



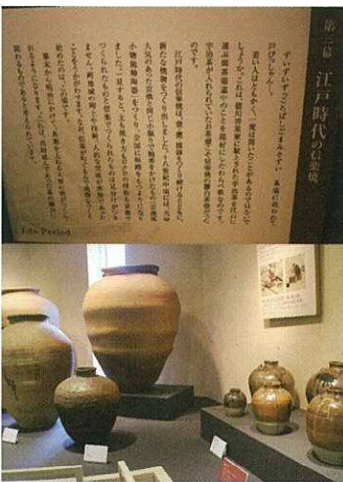
古信楽鑑賞資料



献上壺 資料



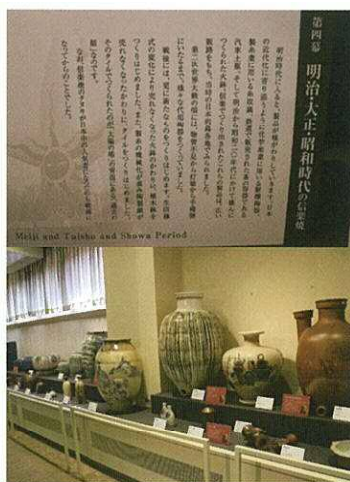
江戸時代の信楽焼 資料



信楽伝統産業会館にて



湯たんぼ 陶製管



信楽伝統産業会館にて

#### ④江戸時代の信楽焼

連房式登り窯の導入後、將軍家に献上する宇治茶を詰める為の腰白茶壺、そして一大ブランドとしての地位を築き上げていた京焼の需要を補う為、小物施釉陶器の生産へ移行しました。

江戸時代に登り窯が使われるようになってから、緻密な素地で繊細な製品が作られ、やきものは庶民生活の日常必需品として幅広く使用されるようになりました。特に、水壺・味噌壺・鉢・団子鉢・搦鉢・徳利・焼酎瓶・土瓶・椀皿類など多品種にわたり、大量に生産されることになりました。一方、信楽の大物陶器づくりを代表する製品として、17世紀

の「腰白茶壺」があります。「腰白茶壺」は、將軍家に献上する宇治茶を詰める為の壺で、特殊製品と云えます。四耳壺で、上部が鉄釉・下部が白釉の掛け分けと仕様が決まり、宇治の御用茶師を通じて注文され、決められた壺細工人だけが制作に携わることが出来ました。その制作は長野村で独占的に行われました。

#### ⑤近代信楽焼製品

近代信楽の主製品である糸取鍋や火鉢、汽車土瓶、そして戦時中の代用陶器の試作品などの資料が現在も残されています。

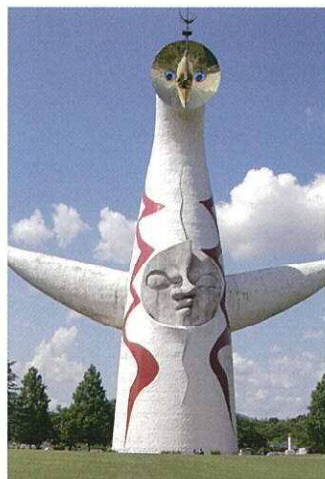
明治時代には、神仏具・灯具・酒器・茶器等の小物陶器も大量に焼かれ、壺類・糸取鍋・火鉢等の大物も大量に生産されるようになりました。また、大正時代には、硫酸壺やインク瓶など耐酸耐水陶器が焼かれました。特に明治35年に設立された「模範工場」での技術指導の為、九谷や清水の技術者を場長に招聘した効果もあり、信楽焼は飛躍的に技術技法が向上しました。また、江戸時代に始まった



火鉢 資料



明治の信楽焼 資料



大阪万博記念公園 太陽の塔

⑥岡本太郎作品  
信楽の技術に注目した岡本太郎は、信楽で大阪万博のシンボル「太陽の塔」の背面の「黒い太陽」等作品の制作を行いました。太陽の塔レプリカや今も人気を博している「坐ることを拒否する椅子」は、信楽伝統産業会館で常設展示されています。



大阪万博太陽の塔背面「黒い太陽」



太陽の塔「黒い太陽」レプリカ

火鉢の生産は、年々増産の一途を辿り、明治・大正・昭和の主力製品として、あらゆる寸法・形状・装飾の物が大量に焼かれ、昭和30年代まで続きました。電気・石油暖房器具の発達で火鉢の需要は終末を迎えましたが、昭和40年頃からは植木鉢の生産が主力になり、登り窯から平地窯に移行した後は、植木鉢や盆栽鉢が作られるようになりました。そして、昭和50年頃からは大型の陶板など建築陶器が伸び、インテリア・エクステリア・植木鉢類・食卓用品・花器類など多様なやきものが年々開拓され、そのバラエティーに富んだ信楽焼は、日本を代表する陶器産地として大きくクローズアップされるようになりました。

岡本太郎は、芸術表現の根幹をなす赤色の発色に納得していませんでした。昭和39年に完成した銀座松坂屋の外壁工事を契機に、岡本太郎の好む赤色を焼き上げた信楽は、それ以降の彼の陶作品の大半を作ることになりました。国立代々木競技場の陶板壁画、昭和45年開催の大阪万博のテーマ館シンボル「太陽の塔」背面の「黒い太陽」等、信楽焼のレリーフ技術で多くの作品を残しています。



古琵琶湖層

⑦古琵琶湖層  
琵琶湖は伊賀付近に約400万年前に誕生した古代湖が北上を続けて、約100万年前に現在の位置迄に移動しました。湖の底に溜まった土砂や動植物の残骸等が堆積したのが古琵琶湖層で、ここから採取される土はやきものに適した土として信楽・伊賀のみならず京焼にも用いられました。  
信楽の代表的な陶土には、木節粘土や蛙目粘土や実土粘土等があり、三郷山付近を中心に採掘されています。此処から採取された信楽の陶土は、長年に渡って腐って粘土質に混じわり、自然水簸によつて粒子が微細となった「木節粘土」が生成され、可塑性があり、細かく滑らかな作りやすい土で、焼き上げるとその土肌は純白に近く細密です。また、「蛙目粘土」は、花崗岩が風化して生成された堆積物で、耐火性に富み、粘り気が強く精製し易く、有機物を多く含んでいることから陶器らしいざつくりとした質感を生んでいます。信楽焼に用いられる土は、これらに古代の須恵器に使われてい

坐ることを拒否する椅子

⑦古琵琶湖層

た砂の少ない細かい土「実土粘土」を混合し使用しています。信楽の陶土は世界に誇れる素晴らしいもので、古信楽に観る「火色（緋色）」の発色と、自然釉による「ビードロ釉」と「焦げ」の景色の味わいは、土と煙が織りなす芸術として、陶土の良いことの証です。

制作途中の粘土



### ⑧ 信楽たぬき

1951（昭和26）年、昭和天皇が行幸された際に、信楽たぬきを並べて奉迎しました。これが報道を通じて注目されて信楽たぬきは全国的に知られるようになったと云われます。

信楽たぬきの発祥は、江戸時代で、写实的でどちらかと云えばキツネに近いタヌキでした。それが今日の様な愛嬌たっぷりの福々しい信楽たぬきに進化したのは、「たぬきや総本家 狸庵」の先代、藤原鏡造が、昭和10年に京都清水から信楽に住み着いて、たぬきを専門に作り出し、現在の信楽たぬきのスタイルが出来上がったと云われます。また、昭和27年頃に名城大学の石田講師の創られた「八相縁起」は、「笠」思いがけない災難を避ける普段から準備、「大きな目」周囲を見渡して気を配り正しい判断が出来る

様、「笑顔」お互いに愛想良く、「徳利」人徳を身に付けよう、「通い帳」信用が第一、「大きなお腹」冷静さと大胆さを持ち合わせよう、「金袋」ずばり金運、「太い尻尾」何事もしつかりした終わりをと8つの縁起です。信楽たぬきのスタイルには商売で心掛けるべき教えが表されています。信楽高原鉄道信楽駅に着くと大きなたぬきの電話ボックスを手始めに、至る所で数えきれない程多くのたぬきが出迎えてくれ、自分のお気に入りたぬきが見つかるそうです。また、たぬきを作っている窯元は、20軒以上もあると云われています。



子供たぬき



たぬきの子供達



信楽駅前の電話ボックス



滋賀銀行東京支店のたぬき



大きなたぬき



散策路のたぬき



たぬきの家族

### ⑨ 窯元散策路

信楽の町は、産業景観で、なかでも伝統産業によって形成される集住・産業・街区景観です。特に長野地区の窯元散策路は、窯元散策をしながら信楽焼の制作現場を見学出来る体験の場を一般向けに提供し、多くの観光客に親しまれています。

散策路には「ろくろ坂」「窯場坂」「ひいろ壺坂」「外輪の路」と4つのコース

があり、信楽焼の陶板が埋め込まれ、陶器の道標があります。古くから信楽の窯元は、国道沿いから少し奥まった所であり、訪れただけでは何処にあるか分からず、窯元巡りや信楽焼が生み出される様子を見てもらいたいとの思いから、平成19年長野地区の地元有志（忠六苑・壺八八山窯・文五郎窯・嶋吉陶房・英山窯・丸滋製陶・明山窯・壺久郎陶房・丸倍製陶・みはる窯・奥田丸隆製陶・卯山製陶・谷寛窯・山兼製陶所・小川頭三陶房・ます

み窯・やすお陶房・デイリーライフ信楽・松庄・なか工房・とらのす・シクヤ製陶所）の手により散策路の整備が始められ、やさしものづくりの町並みと織りなす景観が保全されています。登り窯や無造作に積まれた植木鉢やたぬき等、「陶生町」「焼屋町」「大窯町」「二本丸」と云った町名、陶都信楽ならではの風情を醸し出しています。楽しみながら、点在する工房を巡れば、きつとお気に入りの器に出会えるはずです。



タチザヤが積まれた垣根



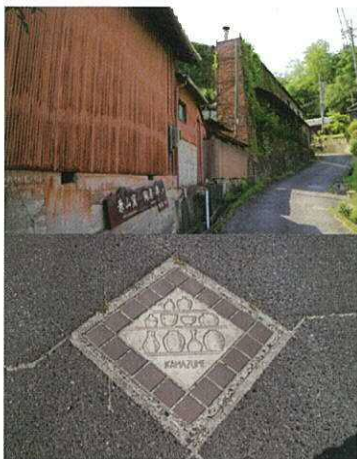
窯場坂



ろくろ坂



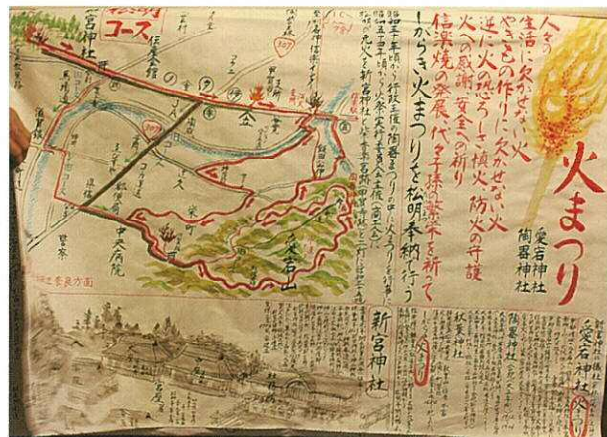
ますみ窯黒酢壺



窯場坂散策路目印



松明奉納



火まつり 資料

⑩信楽火まつり  
長野地区の窯元と従業員らが、やきものを焼く火に感謝し、また、鎮火を願って、長野の氏神である新宮神社で元火を受け、松明を肩に担いで愛宕山山上の火の神を祀る愛宕神社に奉納するまつり。火祭りには、古くは数百年前の江戸時代以前から続くと伝えられています。「陶



新宮神社



愛宕神社

器つくりには欠かせない火」「生活や文化に欠かせない火」への感謝と火に関わる安全を願って行われています。近年は7月の第4土曜日に行われ、新宮神社から愛宕山山頂の神社（愛宕・秋葉神社、陶器神社）に松明を奉納。松明奉納は、奉納提灯・沿道の足灯り・イルミネーションなど様々な趣向を凝らした新宮神社から愛宕山山頂と終点になる信楽地域市民センター駐車場迄の約2.5kmのルートで行われ、毎年約700本の松明が奉納されます。

### ⑪陶器市

各産地で行われる陶器市は、海外からも多く人が訪れる有数のイベントです。店頭に並べられた陶器はさながらまちなかのミュージアムとなり、来訪者は、やさしもの肌触りを味わい、使い込む程に味が出る、六古窯の陶器を求める旅情が楽しめます。信楽陶器まつり（毎年10月）、信楽まちなか芸術祭（3年に一度10月）、毎年10月の体育の日を含む3連休の3日間に行われ、信楽高原鉄道信楽駅付近

の信楽地域市民センター駐車場を中心に陶器市が展開されます。信楽焼の食器は素朴な温かみのある焼き上がりで和は勿論、最近では洋の食材にも独特の雰囲気が出せることで若い人にも広がり人気があります。食器から土鍋等の調理器具、小物、花器や置物等様々な作品が並び、市販されている価格の約3割引程の値段で買う事や値引き交渉も可能で、良い結果が出るかもしれません。



会場：信楽地域市民センター



陶器市



陶器市

## ほっとする信楽

### ・信楽伝統産業会館

鎌倉時代中期のやきものから近世の作品迄を年代別に展示、一目で信楽焼の歴史が分かります。現代作品展も常時催され、情報と文化の発信拠点となっています。信楽観光は、まずここで情報収集をしてスタートして下さい。

### ・滋賀県立陶芸の森

信楽焼は勿論、世界の陶芸に出会うことが出来る陶器のテーマパークで、四季を通じて賑わっています。  
・幻の都 紫香楽宮跡(宮町遺跡)  
742(天平14)年、聖武天皇が離宮造営に着



信楽伝統産業会館

手したことに始まる紫香楽宮。僅か数年で遷都されたため永く幻の都と云われてきました。平成12年に宮町遺



滋賀県立陶芸の森

跡で宮殿跡が発見され、全国的に注目されました。今も幻の都を解明する発掘が続けられています。

### ・日本最古の朝宮茶

1200年前、中国から持ち帰られたお茶が初めて栽培されたのが信楽の朝宮地区と云われます。全国五大銘茶とされ

### あとがき

信楽焼の登り窯は、近代化産業遺産群33(経産省)「輸出製品開発や国内需要拡大による中部、近畿、山陰の窯業近代化の歩みを物語る近代化産業遺産群」の構成遺産リストに「甲賀市の窯業(信楽焼) 関連遺産」として信楽焼登り窯(丸又製陶(有丸由製陶)が選定され、また、かおり風景100選(環境省)「古窯信楽の登り窯」に選定されています。

陶磁器産業は、食文化や生活様式の変化や嗜好の多様化等で内需の減少と、中国商品の輸入増大が同時に進行し、業界全体の先行きは、原材料問題や高齢化や後継者不足等で暗いものとなっています。再生に向けた取組は、国内需要の掘り起こしと海外への展開と云われています。

大都市東京で直販出来る信楽焼のアンテナショップやインターネットを活用した国内外への商品販売促進や大手通販会社に採用される商品開発等を考えていかなければなりません。

今回認定の日本遺産「きつと恋する六古窯―日本生まれ日本育ちのやきもの産

る朝宮茶は、緑茶の最高峰として歴代天皇にも献上されています。

### ・信楽名物「たぬき井」

たぬき井の定義はただ一つ「各店舗お勧めの、おいしく化けたどんぶり」です。そんなローカルフードを是非探して食べてみて下さい。

地」は、整備された信楽の窯元散策路を中心に、まず信楽に直接来て頂き、見て買って頂ける、町全体がショールームの様な町づくりが必要です。信楽の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を活かした観光にも繋がります。

信楽の陶器産業の発展の原動力は、人と技術と開発力によるところが大きく、その元となる陶工の優しさや素晴らしさがあつた為、これ迄に様々な物が毎年作られ今日の陶産地として発展してきました。自然体でががつせず地道に頑張る地域の出会った人達、信楽が益々素敵に見えるよう諸事情はあるでしょうが、まず人と自然を大切にすることを忘れずに、大切な「きつと恋する六古窯―日本生まれ日本育ちのやきもの産地」信楽を守って頂きたいです。

### (参考資料)

- ・甲賀市教育委員会…信楽焼構成文化財一覧
- ・絵で見る信楽焼…信楽古陶愛好会発行
- ・信楽伝統産業会館…展示資料
- ・富増純一氏…作成資料

# 滋賀県内の主な事業用地(ご紹介可能用地及び計画中の用地)

## 湖南地区

### ①守山市

#### 木浜県有地

所在地: 守山市木浜町地先  
面積: 8.7ha

#### 横江地区

所在地: 守山市横江町地先  
開発可能面積: 6.4ha(農地)

### ②栗東市

#### 栗東市上鉤・下鉤・手原・蜂屋地区事業用地

所在地: 栗東市上鉤・下鉤・手原・蜂屋  
分譲面積: 1.1ha[7区画]

## 湖東地区

### ⑧愛荘町

所在地: 愛荘町愛知川地先 他  
事業用地(4カ所): 1.6ha~6.6ha

## 甲賀地区

### ③湖南市

所在地: 湖南市石部口  
開発可能面積: 5.2ha

### ④甲賀市

#### (仮称)甲賀北地区工業団地

所在地: 甲賀市甲賀町鳥居野  
開発面積: 15.5ha  
(分譲可能面積約8.9ha)

### ⑨多賀町

びわ湖東部中核工業団地 他  
所在地: 多賀町四手・敏満寺地先  
分譲面積: 1.2ha~6.9ha[3区画]

## 湖北地区

### ⑩米原市

所在地: 米原市米原地先  
事業用地: 0.08ha・0.2ha[2区画]

## 東近江地区

### ⑤竜王町

分譲中

#### 滋賀竜王工業団地

所在地: 竜王町岡屋地先  
分譲面積: 22.4ha[5区画]

### ⑥東近江市

#### 蒲生中部工業団地

所在地: 東近江市大塚町 地先  
分譲面積: 5.5ha[1区画]

### ⑦日野町

造成中

#### (仮称)鳥居平工業用地(2018年竣工予定)

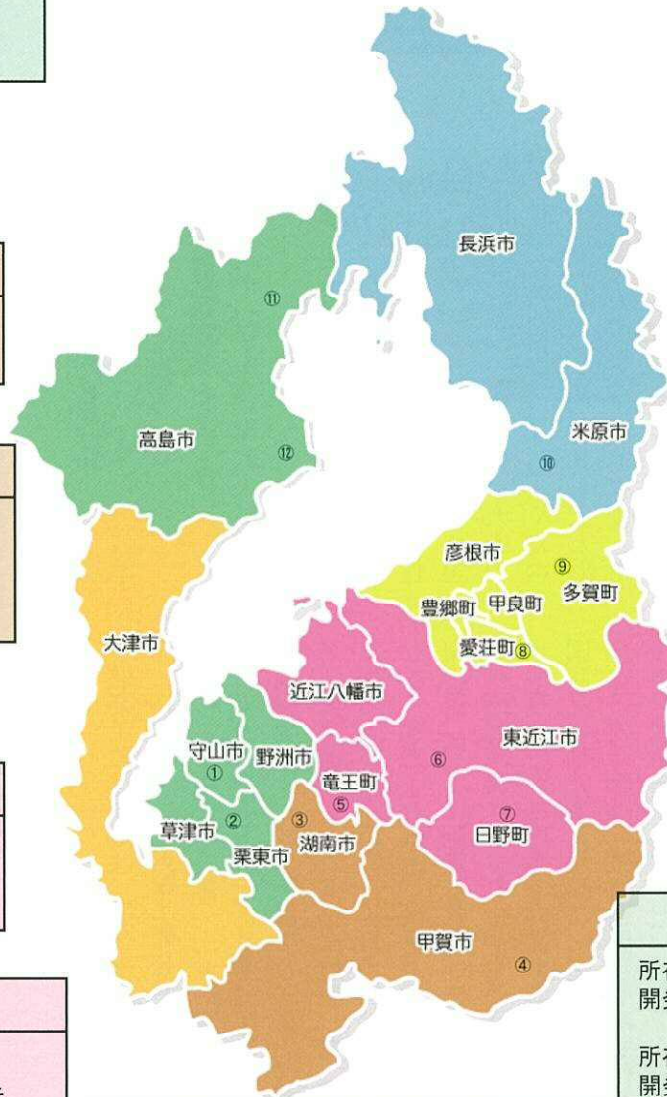
所在地: 日野町鳥居平 地先  
分譲面積: 7.8ha[2区画]

## 湖西地区

### ⑪、⑫高島市

所在地: 高島市マキノ町西浜地先⑪  
開発可能面積: 9ha(農地)

所在地: 高島市安曇川町南船木地先⑫  
開発可能面積: 2.9ha(農地)



滋賀県の産業用地、その他企業立地に関するお問い合わせは

滋賀県企業誘致推進室 まで

滋賀企業立地

検索



TEL 077(528)3792 / FAX 077(528)4876  
E-mail fd00050@pref.shiga.lg.jp